

少子化が急速に進む中、子供を取り巻く環境の変化に対応できる支援体制づくりを進めます。また、今年は障害者による世界的な会議が札幌で開かれる年。これをきっかけとして、高齢者や障害者の社会参加を促すための施策に一層力を入れていきます。

少子・高齢社会に対応した地域福祉の推進



保育所の定員増を進め 多様な保育需要にこたえます

待機児童の解消に向けた保育所の緊急整備に取り組みます。今年度は、新築や改築などにより六百人の定員増を実施し、平成十六年までに千二百人規模の定員増を行います。通常の時間を超えて保育を行う「延長保育」を、昨年度より七カ所増の百十三カ所です。パート就労や傷病・冠婚葬祭などによる保育需要にこたえる「一時保育」を六カ

所増の三十四カ所で行います。また、病氣回復期にあり、集団保育を受けられないお子さんを一時的に預かる「乳幼児健康支援サービス」は一カ所増の三カ所です。さらに、新たな事業として、日曜・祝日に保育を行う「休日保育」を一カ所です。一方、子育て家庭の地域での集いの場として、これまで七カ所の保育園で週一回行っていた「あそびのひろば」を、保育園開放（月々金曜の午前、一時間三十分）に変更。お子さんの対象年齢も零歳から就学前までに拡大し、保育園児との交流体験も行うなど、より自由に遊びながら、子育てに関する情報交換ができる場として開放します。



保育所の新築や改築を進め、待機児童の解消を目指します
(写真は青葉保育園)

十月十五日から四日間、豊平区の道立総合体育センター「きたえーる」でDPI(障害者インターナショナル)の世界会議が行われます。DPIは、世界の障害者の代表で結成された非政府組織(NGO)。百カ国以上から障害者



DPI世界会議の開催を機に 障害者の社会参加を一層促進

や福祉関係者など約二千人が参加し、障害者を取り巻くさまざまな問題について話し合います。

期間中は、市民の皆さんの協力を得て、日本文化・伝統を紹介するコーナーを設けるなど、さまざまな交流事業を

都心部統合小学校と子育て支援施設などからなる複合施設の工事に着手



小学校と、子供関連の施設からなる複合施設の建設に着手します。場所は創成小学校用地(中央区南3西7)で、地上5階、地下1階建てです。

小学校は、中央区の創成・大通・豊水・曙小学校を統合して開設するもの。体育館やプールは校舎内に組み込む形となり、4校の歴史を展示するメモリアルホールやIT型学習室、多目的教室などを整備します。

また、子育て支援施設には、親子

が気軽に交流できるプレイルームや情報コーナーを設置し、学校や地域と連携した多彩な事業を展開します。

このほか、放課後の子供たちの遊び場となるミニ児童会館のほか、延長保育などを行う保育所を設けます。

複合施設の利点を生かし、それぞれの施設が互いに連携を図ることで、さまざまな効果を挙げることが期待されます。札幌都心部統合小学校の開校と各施設の開設は、平成16年の予定です。